



自然災害から考える

校長 横山 優美

今年台風が次々に発生し、その影響による記録的な大雨・暴風により、広い地域に被害が広がり、各地で土砂災害や河川の氾濫、建物の崩壊等が相次ぎました。10月24日、台風21号がほぼ直撃に近いコースで小笠原に接近し、大きな被害を与えました。父島は最大瞬間風速52.7mを記録し、母島は1時間に22.0mmの強い雨が降りました。小笠原は常に台風に対する備えがあり、養生するなど被害を最小限に抑える不断の努力をしていると思っています。しかし、今回はそれを上回る勢力の台風で、自然の猛威は防ぎようがないことを強く感じました。

窓ガラスに当たる激しい暴風雨、長時間にわたる停電、根こそぎ倒れていく樹木。学校は休校になり、自宅にいたとはいえ子供たちはみんな怖い思いをしたのではないのでしょうか。いつも点いて当たり前の電気ですが、停電になり不便な思いをして、電気のありがたさを改めて感じたのではないのでしょうか。台風が過ぎ、風が弱まったころ通学路の点検に行きました。倒木があり、折れた枝や木の葉は歩道をふさぎ、電線は切れて垂れ下がり、たくさんの台風ごみが散乱していました。明日の登校は危険だなと思い学校に戻りました。ところが、夕方もう一度見ると大きな障害物は道路の端によけられ、歩道が確保されていました。垂れ下がっていた電線も復旧していました。村の皆様が片付けをしてくださっていたのです。この短時間ですごいことです。村の皆様のたくましさや温かさを感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。不眠不休で台風対策にあたってくださった小笠原村はじめ行政機関の皆様、公共機関の皆様、地域の皆様ありがとうございました。台風が過ぎた翌日、子供たち全員で校庭の清掃をしました。折れた枝・飛び散った木の葉を拾い集めました。あっという間に校庭はきれいになりました。

今、小笠原だけでなく被災した各地で復興が行われています。厳しい現実と向き合い、今を乗り越えようとしている人々の勇氣、そして強い意志。台風の被害を受けたわたしたちだからこそ、その思いを感じることができると思います。災害のときには「命を守るための行動ができる」と共に、互いに助け合うこと、自分たちには何ができるか考え、行動すること、そして感謝の気持ちをもつ子供たちを育てていきたいと思ひます。

被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。被災された方々が一日も早く元氣を取り戻し、安心・安全な生活が戻りますよう、心よりお祈り申し上げます。



行事予定

1	金	避難訓練 委員会活動	SC	17	日	
2	土			18	月	全校朝会 タコノ葉 (6年・1・2校時)
3	日	文化の日		19	火	就学時健診(5年6時間、他4時間授業) 漁協見学(3年)
4	月	振替休日		20	水	ゲーム集会 補食チョコパン (低)
5	火	緊急地震速報訓練 清瀬川探検(2年)		21	木	展覧会前日準備 ヨーグルト
6	水	誕生日集会 ヨーグルト 保育園交流(1年)		22	金	展覧会児童鑑賞日 SC
7	木	ハンカチチェック		23	土	展覧会保護者鑑賞日(4時間授業) 勤労感謝の日
8	金	図書読み聞かせ(1~4年)タコノ葉(6年)クラブ		24	日	
9	土	算数検定		25	月	振替休業日(11/23分)
10	日			26	火	5年研究授業(5年以外4時間授業) 動物ふれあい教室(1年)
11	月	全校朝会 パワーアップ週間(始) 浄水場見学(4年)		27	水	運動集会 ワク芝 巡回相談
12	火	大村海岸植物観察(4年)		28	木	巡回相談
13	水	ワク芝 ヨーグルト飲		29	金	巡回相談 図書読み聞かせ(1~6年)クラブ SC
14	木	タコノ葉(6年)		30	土	
15	金	パワーアップ週間(終) 図書読み聞かせ(1・2年)SC ヤシの木学級研究授業(ヤシの木学級以外4時間授業)				
16	土	4時間授業(10/10分)				

SC・・・スクールカウンセラー来校日

※11月11日~15日は、パワーアップ週間です。「あいさつをしっかりとる」「姿勢正しく座る」などの目標に取り組みます。

<安全目標>

余裕をもって行動しよう（けがの防止）

低学年

落ち着いて行動し、けがをしないようにしよう

中学年

時間を見ながら行動し、けがを未然に防ごう

高学年

余裕をもって行動し、けがを未然に防ごう

あわてて行動すると忘れ物をしたり、けがをしてしまったりします。あわてず焦らず、落ち着いた生活ができるように、時間を見ながら行動しましょう。

<生活目標>

ていねいな言葉づかいをしよう

低学年

優しい言葉で話そう

中学年

丁寧な言葉づかいを意識しよう

高学年

丁寧な言葉づかいをしよう

相手を大切に思って優しい言葉づかいで話すと自分も相手も温かな気持ちになります。相手のことを思いやり、誰に対しても丁寧な言葉づかいを心掛けましょう。

運動会（10月6日）

担当 武村 健司

10月6日（日）に、晴天の中で第52回小中高連合運動会が行われました。児童・生徒が、様々な競技で力を発揮していて、いい運動会になりました。

また、多数のアンケートのご協力ありがとうございました。アンケートの一部を紹介させていただきます。

- ・天候に恵まれ、どの学年も生き生きと頑張っていて良かった、毎年感動します。（多数）
- ・高学年の表現は、みんなが一つになりとてもかっこよかった、見応えがあった。（多数）
- ・低学年はかわいらしく、どの競技も一生懸命取り組んでいる様子がとてもほほえましかった。（多数）
- ・小中高での連合は、小学生の刺激になるし、目標にもなるし、これからも続けて行ってほしい。（多数）
- ・地域の人の活躍も素晴らしくみんなの運動会だなあとと思った。
- ・犬走りからも見えるように木の伐採をしてほしい。（3名）
- ・トイレの開放を増やしてほしい、スリッパも足りない。（3名）
- ・年々、終了時刻が遅くなっているため、時間短縮できるところは検討してほしい。



いただいたご意見については、次年度に向けた改善事項として検討させていただきます。

展覧会に向けて

担当 小野里 雅由

今でも覚えています。私が幼稚園の頃の出来事です。その当時、母親が化粧品の販売の仕事をしていました。子供ながらにそのことが印象強かったのか、母親の顔の絵を描いたときに、目の上を虹色で描きました。もちろんアイシャドウです。それに気付いた先生が帰りに母親にその絵をそつと紹介してくれました。その時の母親の少し照れながらも嬉しそうな顔が今も忘れられません。

子供の作品には、一人一人の気付きや思い、工夫が詰まっています。また、そのことを認めてもらえたり、気付いてもらえたりした経験は、子供が自立していく上でもとても重要です。そのようなことを大切にしながら展覧会に向け、日々の図工の授業を行ってきました。

11月22日（金）、23日（土）に展覧会が行われます。おが小の子供たちの個性溢れる「ワンダー ザ シー！」をぜひお楽しみください。詳しくは別途配布される案内をご覧ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

インターネットの安心・安全な使い方教室について (10月4日)

担当 生活指導部

先月、インターネットやSNS等の使い方について、総務省運輸局の講師を招いて授業を行いました。低学年は「ルールやマナーを守って使おう」、中学年は「SNSで気をつけたいこと」、高学年は「SNS被害から防ぐ」をめあてに学習しました。

インターネットの被害者にも加害者にもならないために、「モラル」「マナー」「ルール」を基に、自分をコントロールすることが大切だと、講話や動画で分かりやすく学びました。

ぜひ、ご家庭でもお子さんとインターネットの使い方についてご確認ください。



母島移動教室 (10月20日～22日)

担任 木村 隆志

1日目は、小富士登山と南崎海遊び、星空観察。2日目は、乳房山フィールドワークと脇浜海遊び、母小6年生との交流会。3日目は、静沢の森遊歩道散策とローズ記念館や清見が岡鍾乳洞などの班ごとの見学。3日間とも大変天候に恵まれ、全ての活動を行うことができました。宿舎の南風の方々をはじめ、多くの母島の方々にご協力いただきました。ありがとうございました。



減塩朝会 (10月17日)

担当 阿部 大樹

小笠原村は「脳血管疾患」での搬送者や既往に「高血圧」がある方が多いため、「減塩」をテーマに保健活動を行っています。その一環で、村の栄養士2名に来ていただき、小学校でも減塩に関する講話を行いました。昨年度は「しょっぱいものを取りすぎると病気になる」という話でしたが、今回は実際に1日に必要な塩分量を考える話でした。

小笠原村にとって「減塩教育」は、大切な勉強であります。そのため、児童にとっては良い学びの機会となりました。塩を3回振るのを2回に、2摘みを1摘みに、その分島レモンを絞る等、ぜひご家庭でも実践してみてください。



体力テストについて

担当 体育的行事部

文部科学省では、昭和39年以来、「体力・運動能力調査」を実施して、国民の体力・運動能力の現状を明らかにし、体育・スポーツ活動の指導と行政上の基礎資料として広く活用しています。本校で5月に実施した体力テストの結果をご紹介します。

1 体力テストの概要

主催	文部科学省
時期	5月
対象学年	1～6年
実施項目	身長、体重、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げ

2 体力テスト結果 ※赤：都平均超え 白：都平均同等 青：都平均以下

男子	身長	体重	握力	上体起	前屈	反復横	20mシャ	50m走	立ち幅	ソフト投
1年	120.3	22.2	9.4	11.3	29.7	29.4	12.6	11.1	124.4	8.6
2年	120.5	21.9	10.9	14.6	28.9	32.4	33.4	10.3	135.0	11.3
3年	127.5	25.7	12.2	17.2	28.5	38.4	43.6	9.6	143.9	15.2
4年	133.4	30.2	12.8	18.3	33.6	41.8	45.5	9.5	152.1	19.4
5年	137.1	30.9	16.7	23.1	36.0	47.4	65.9	8.8	170.8	23.4
6年	142.2	35.1	22.7	24.5	39.0	49.7	70.6	8.5	174.7	29.4
女子	身長	体重	握力	上体起	前屈	反復横	20mシャ	50m走	立ち幅	ソフト投
1年	114.5	19.9	7.1	10.9	26.3	23.9	12.1	11.9	109.3	4.7
2年	122.2	23.7	10.7	14.1	34.1	32.8	22.9	11.0	130.3	6.9
3年	127.6	26.2	11.7	16.2	28.3	34.6	28.5	9.9	127.9	9.7
4年	128.7	27.1	11.3	19.1	38.1	37.8	37.1	9.8	139.4	11.9
5年	139.3	32.2	14.0	17.1	40.2	43.6	44.9	9.4	156.2	10.5
6年	145.3	34.6	18.1	19.1	40.1	45.6	50.1	9.1	156.9	15.3

<身長・体重>

- ・都平均を超えた項目（赤）は **17%**であった。
- ・都平均と同等項目（白）は **12%**であった。
- ・都平均を下回った項目は **71%**であった。



<競技の項目>

- ・都平均を超えた項目（赤）は **74%**であった。
- ・都平均と同等項目（白）は **7%**であった。
- ・都平均を下回った項目（青）は **19%**であった。
- ・2・5・6年男子は全ての項目で都平均を超えていた。
- ・5割の児童の握力が都平均を下回っていた。
- ・1年女子は5/8項目で都平均を下回っていた。
- ・3年の前屈が都平均を下回っていた。
- ・5・6年女子の上体起こしが都平均を下回っていた。

3 考察とまとめ

競技の項目は7割以上の項目で都平均を超えているが、身長・体重は7割以上の項目で都平均を下回っていることがわかりました。この結果より、エネルギー不足やエネルギーがないにも関わらず、活動量が多いことが考えられます。エネルギーがない中で活動を繰り返すと、筋肉をエネルギーに変えてしまうため筋力や体重は減ってしまいます。今後も、体力テストの結果等を踏まえた健康教育の充実に取り組んでいきます。

体力テストの詳細につきましては、個人結果をご覧ください。